

令和6年3月29日

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト
「つながるひろがる にほんごでの暮らし」（通称：つなひろ）

新たに「子育て・教育」分野の動画教材を追加しました。

文化庁は、「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業の一環として、外国人が生活場面に応じた日本語を学習できるICTを活用した教材を開発・提供しています。文化審議会国語分科会において、「日本語教育の参照枠」が取りまとめられ、これに基づく「生活 Can do」が令和5年3月に公開されました。

「生活 Can do」で示される生活分野の中に、「子育て・教育」分野が含まれることから、本サイトにもこれらをテーマとしたコンテンツを追加することとしました。



<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

このようなコンテンツを追加しました



保育施設を利用しよう



進路について相談しよう

経緯・目的

我が国の在留外国人が平成2年末の約108万人から令和5年6月の約322万人となり、多くの地方公共団体に外国人が在住する状況となっています。一方で、地方公共団体によっては日本語教育人材がない等の状況により、「生活者としての外国人」を対象とした日本語教室が未だ開設されていない市区町村（以下、空白地域）も多数存在しています。こうした地域に住む外国人の方々が日本語学習の機会を得て、地域で十分に力を発揮できるよう、文化庁では、独学で生活に必要な日本語の学習ができるICT教材、日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし（通称：つなひろ）」（以下：本サイト）を開発して提供しています。本サイトの利用者からは、外国人の在留年数の長期化等を背景として、「子育て・教育」に関する学習コンテンツを求める声が挙がるようになり、また在留外国人の子供の人数が年々増加しています。このような背景を踏まえて、保護者の方々が子育てや教育に取り組む際の学習コンテンツを追加し、生活の実態に即した学習機会の提供に取り組みました。

概要

○「子育て・教育」分野をテーマとした動画が加わります

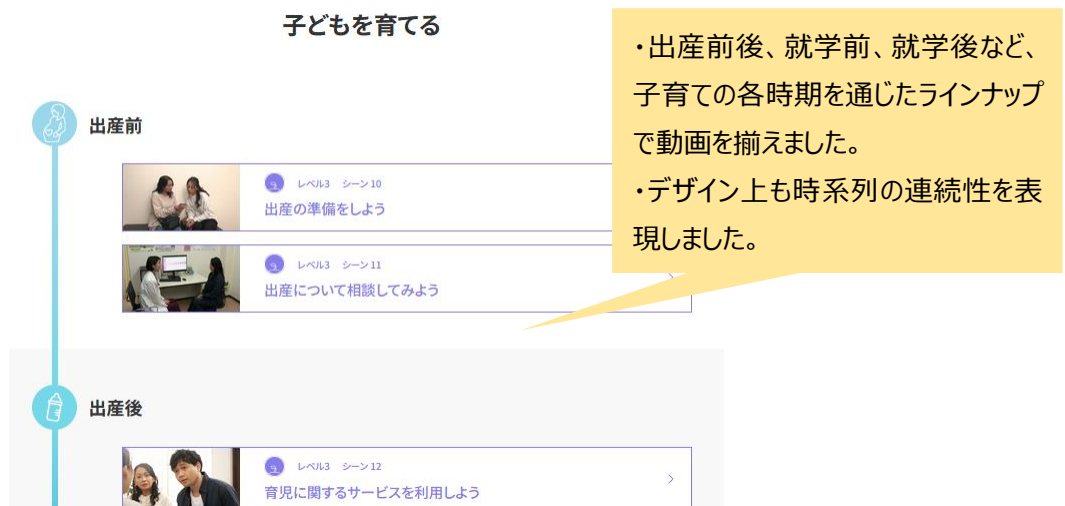
本サイトでは、日常生活に関する日本語学習教材としてコンテンツの追加を行ってきましたが、在留外国人の多様化と学習ニーズの高まりに伴って「子育て・教育」分野の学習項目を追加したことにより、新たに 10テーマ30本の動画が加わります。

追加コンテンツのテーマ・タイトル一覧

出産の準備をしよう	出産について相談をしてみよう	育児に関するサービスを利用しよう
子どもを病院に連れていこう	保育施設を利用しよう	子育てについて相談しよう
入学に向けて準備しよう	学校生活について理解しよう	学校でのトラブルに対処しよう
進路について相談しよう		

また、サイトへの掲載においては、子育て・教育に関する段階を踏まえて、外国人の方々が違和感なくこれらの場面の日本語を学習できるよう配置を工夫しました。

■「子どもを育てる」一覧ページ



※本サイトでは、外国人や日本語教師等が使用する日本語学習教材であることを鑑み、「子ども」と表記している。

■「見て学ぶ生活の場面」の選択ページ

子どもを育てる



■生活場面の動画（育児に関するサービスを利用しよう）

育児に関するサービスを利用しよう

出産し、育児をするときに必要となる日本語を学びましょう。
出産に関係ある制度を理解したり、育児についての悩みや困りごとについて相談したりすることができるようになります。

この場面で学べるキーワード

出産育児一時金 育児 母乳 おっぱい
おむつ 助産師 赤ちゃん訪問 予防接種

12-1. もうすぐ子どもが生まれるんですが

・病院で、出産に関する助成金について質問することができます。
・役所で、子供が生まれたあとの手続きについて質問することができます。

日本語 日本語

【参考】空白地域に向けた日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」

●内容

「つながるひろがる」は、日本語教育に対するニーズが高まっていることなどを踏まえ、空白地域に住む外国人等を対象として、令和2年6月より公開されている日本語学習サイトです。アクセス数は令和4年度には約147万回となり、在住外国人の独学や、日本語教師が授業を行う際の教材として、国籍を問わず多くの方々に活用いただいています。（公開開始日 令和2年6月1日）

「つながるひろがる」は、我が国で生活する外国人が円滑な生活を送るために、買い物や役所等の生活場面に特化した日本語学習ができるように作られています。動画を中心とした構成となっており、実際の生活でどのような日本語が使われるのか、動画を見ることを通じて学ぶことができ、同時に生活に関係する知識を得ることができます。また、レベルが4つに分けられ、学びたい場面や自分の日本語能力に合ったレベルを選択できるようになっています。（レベルは日本語教育の参照枠に当てはめるとおおよそA1～B1レベルです。）

●対象 「生活者としての外国人」対象の日本語教室がない市区町村に在住する外国人等

●提供言語 中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・英語・フィリピン語・フランス語・インドネシア語・クメール（カンボジア）語・韓国語・モンゴル語・ミャンマー語・ネパール語・ポルトガル語・ロシア語・スペイン語・タイ語

トップページ上部で、日本語を含む 18 言語の切り替えが可能！



● サイトの特徴

○ Point1 短い動画で学べる

- ・ 1 動画 30 秒～ 5 分程度なので隙間時間でも学習可能です。
- ・ 動画には日本語と外国語、ローマ字の字幕がついており、自分にあった字幕を選ぶことができます。

○ Point2 だれでも学べる

- ・ 登録不要なので、パソコンやスマートフォンがあれば誰でもすぐに利用可能です。
- ・ コンテンツはレベル別に分かれおり、自分にあった学習レベルから学習を開始できます。

○ Point3 生活のシーンで使える

- ・ 生活の場面を切り取った 39 シーンの日常会話から学ぶため、学んだ日本語はすぐに役立ちます。
- ・ 防災、ごみ捨て、あいさつ、買い物、電車、引っ越し…等。身近な日本語を動画で手軽に学べます。

○ Point4 文型・読み書き・日本語の特徴も学べる

- ・ 生活に必要な書類の読み書きや、日本語のルールや文法を学ぶことができます。

○ Point5 色々な言語で学べる

- ・ 18 言語に対応しているため、色々な言語で日本語を学ぶことができます。

● 利用者の声

か しぶん
何 仕雯さん (中国出身・福岡県北九州市在住)

公益財団法人北九州国際交流協会の日本語教室で学んでいます。



日本で暮らしてしばらくたちますが、これまで店などで店員さんが話していることを理解することができませんでした。答えなければいけないときは、こんなことを話しているのかなと推測して答えて、うまくいかないこともありました。

このサイトで買い物やレストランの動画やスクリプトを見て学習してからは、店員さんとのやりとりも意味を理解できるようになりました。つなひろだけ

で勉強するのではなく、日本語教室で先生に練習相手になってもらったこともあって、質問の意味が分かるだけでなく、答えることができるようにもなりました。サイトだけでなく、周囲の人たちにも協力を得て学習を進めると効果的だと思います。

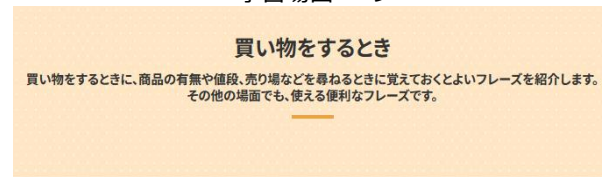
「はじめに覚えよう！日本語の便利なフレーズ」

学習場面の選択ページ

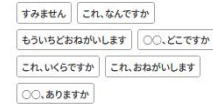


「はじめに覚えよう！日本語の便利なフレーズ」

学習場面ページ



この場面で学べるフレーズ



●豊富な広報ツール

・外国人や日本語の指導者が本サイトを活用しやすいように「使い方ガイドブック」や、広報ツールとしてパンフレット、ポスター、チラシ、サイトの紹介動画などがあります。

参考：本サイトの広報ツール <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/about-link>



※本サイトは、文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業の一環として、TOPPAN 株式会社に委託して開発・運営するものです。

問い合わせ先

媒体社からのお問い合わせ先：

株式会社 JOINT ONE（担当：嶋田）
東京都新宿区西新宿 7-17-7 廣田ビル 5 階
Email: shimada-t@jointone.net
Tel: 03-4405-8182

当サイトのコンテンツに関するお問い合わせ先：

TOPPAN 株式会社

ソーシャルイノベーションセンタープラットフォームビジネス本部（担当：仲山）

東京都文京区水道 1-3-3

Tel: 03-5840-1616

<担当>	文化庁国語課地域日本語教育推進室
	室長補佐 三浦
	専門官 村上
	専門職 北村
	電話：03-5253-4111
	（内線：4845、4895）
	メール： chiikinihongo@mext.go.jp

※令和6年4月に、文化庁国語課が行ってきた日本語教育に関する業務が文部科学省総合教育政策局に移管されることとなっています。そのため、令和6年4月1日以降の問合せ等には、同局日本語教育課が対応します（電話及びメールアドレスは変更なし）。